

上野原市風景づくり市民プラン



平成 28 年 1 月 28 日

上野原市風景づくり市民懇談会





目 次

◇趣意文

- ① 風景づくり市民懇談会の提案にあたって…………… 2
- ② 風景づくり市民プラン…………… 4
 - (1) チーム別検討テーマと市民プロジェクトの提案 …… 4
 - 豊かな資源を守り・活かし・つなげ隊チームの提案…………… 4
 - 笑顔はげまし隊チームの提案…………… 8
 - (2) 風景づくりの実現に向けて…………… 12
- ③ 市民懇談会活動の概要…………… 13

趣 意 文

上野原市長 江口 英雄 殿

上野原市は全国的にも有名な河岸段丘やその周辺の傾斜地からなり、これらの特徴的な景観に囲まれた中で古くから人々の生活が営まれ、その過程で素晴らしい歴史的・文化的景観が創造され、維持されて参りました。

また近年では、週末などには多くのハイカーが山々の景観や自然を楽しみ、旧甲州街道や桂川などの水辺を訪れる方々も見受けられます。

この様に、自然、歴史的・文化的な資源やその景観は、私たち市民の情操を育み、ふるさとへの愛着をより一層高めるものとして非常に重要なものであるとともに、観光・交流・地域活性化などの大きな資源となり得るものです。

今回、私たち「上野原市風景づくり市民懇談会」では、平成 27 年 5 月の発足以来、5 回の会議や現地調査を行って参りましたが、一番驚いたことは、私たち市民の多くが知らない魅力的な景観資源が存在し、また、それを育てている方がいらっしゃるという事実です。

これは、それだけ上野原の自然や歴史には多様性があるということ、そして、まだまだ上野原には、誇り、学びあえる数多くの宝物が眠っているということだと考えております。

そこで、市民懇談会では、これらの資源を含め、上野原の景観資源を守り育てていくことはもちろん、地域活性化・交流のために大いに活用することを提案としてとりまとめました。

今後、「上野原市景観計画」の策定や、「景観条例」の制定などが予定されているとのことですので、市当局におかれましては、市民懇談会の本提案を一つでも多く実現していただき、また、市民発意の主体的な活動に支援して下さいますよう切に希望致します。

平成 28 年 1 月 28 日

上野原市風景づくり市民懇談会 メンバー一同

1 風景づくり市民懇談会の提案にあたって

(1) 市民懇談会の提案に至るまで・・・

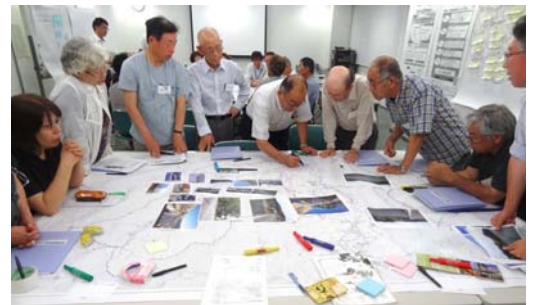
- 風景は、「目に映るもの」だけでなく、「見る人の感じ方」によって、受ける印象が様々に異なってきます。そのため、市民懇談会では、はじめに、「上野原市の風景はどうなっているのだろう」という日常感じている想いを共有し、風景づくりの検討に向けた共通の土壌を創ることから始めました。
- 上野原市の景観の輪郭が見えてきた段階で、「風景づくりフィールドワーク」を行いました。実際に目で見て五感で感じ、多くの会話を交わすことで、風景を特徴づける資源を再発見するとともに、目に映る風景の背景にあるものがとても大切であることに改めて気づき、景観の奥行きを見直す貴重な体験となりました。特に、参加者による地域の風景に関する説明は、郷土愛にあふれ、風景に対する多様な価値観のあり方や、風景づくりを支えている多くの活動を知る機会ともなりました。
- 提案づくりの検討を積み重ねていく中では、「住み良さのための景観づくりを進めること」、また、「人のいる暮らしの風景や、これまで培われてきた風景を継承していくための取り組みを進めること」が大切であることに気づきました。そして、このまちに住む私たち住民が、身近なところから風景づくりの意識を高め、ともに協力しあい、「今できること」、「連携してチカラをつけていくこと」が重要との想いを強くしました。
- この提案書は、協議の成果をまとめたものであるとともに、立場や世代を超えて理解しあい、風景づくりの一步を担うべく展望を語り合った、市民懇談会の全てのプロセスを記録した証でもあります。



(2) 風景づくりで大切な視点・・・

ワークショップによる協議の積み重ねから、風景づくりで大切な視点が次のように確認されました。

- 特徴的な地形構造を手がかりとした風景づくりや、水と歴史文化を守り活かす風景づくりを進めること
- 人に培われた風景を大切に継承していくこと
(水のまちの人智・文化、地域の活動、ふれあい・交流、暮らしの風景)
- 地域らしさを活かし連携がとれた景観まちづくりを進めること
- 「風景を知り、守り・活かし、広く発信する」風景への関心や意識を醸成し、みんなで景観を育むこと



(3) 風景づくりの検討テーマ

提案づくりにあたっては、上野原市らしい風景の特性に沿った市民提案となるよう、テーマを絞り協議することが重要であると考え、これまでの協議から次に示す5つのテーマを抽出し、テーマ別のチーム編成により検討を進めました。

■ 上野原市の骨格となる風景を守り活かす

● 特徴的な自然骨格を活かした風景づくりを進める

- 豊かな自然景観(河川、水辺、森林、斜面樹林)
- 優れた眺望(パノラマ眺望、良好な眺望地点など)
- 登山や釣り等のレクリエーションの風景 など

● 甲州街道宿場町や潜在的な歴史文化資源を活かす

- 甲州街道宿場町の歴史性とまちなみ景観
- 金山、社寺、伝統行事等の潜在的な歴史文化資源
- 歴史文化のルートづくり など

● 水のまちの文化や、人と暮らしに培われた風景の魅力を活かす

- 水のまちの文化、郷土食や暮らしの文化、花の風景、交流や賑わい風景など

■ 暮らしに身近な景観を活かし創る

● 地域特性を活かした上野原市らしいまちなみ景観を創る

- 中心市街地のまちなみ景観
- その他のまちなみ景観(国道20号沿道、商業地、コモアしおつ、工業団地周辺等のまちなみ景観等)
- 道路、公園・広場など施設周辺の景観(上野原駅周辺の景観整備、観光交流施設周辺の景観など)

● 山間集落と里山の原風景を守り活かす

- 山間地の古くからの集落地と里山の風景
- 富岡の棚田や素朴な農の風景

2 風景づくり市民プラン

(1) チーム別検討テーマと市民プロジェクトの提案

◆豊かな資源を守り・活かし・つなげ隊チームの提案

—上野原市の骨格となる風景を守り活かす—

■風景づくり重点テーマの提案

1. 特徴的な自然骨格を活かした風景づくりを進める

◆目標のキーワード

- ◇本市の個性、河岸段丘のまちのイメージを活かした風景づくりを進めます
- ◇五感で感じる自然、奥行きのある圧倒的な自然資源を守り・活かします

◆自然景観、眺望景観、レクリエーションの風景などの提案

- 特徴的な河岸段丘地形を活かす（依水荘周辺の河岸段丘風景、眺望される家並みの配慮など）
- 魅力ある山々を活かす（坪山、扇山等の隠れた名山の活用、上野原20名山の選定、登山・ハイキングの魅力発信、アクセス整備）
- 市街地に近接した斜面樹林を活かす（自然公園化、散策路整備、ウォーキング等の健康づくりへの活用、梅・桜・紅葉等の緑の育成）
- 自然の宝庫“八重山周辺”と市街地後背斜面林一帯の自然公園化
- 豊かな森林の維持管理（クズ対策等の維持管理、景観支障樹木の伐採、杉林から落葉広葉樹への樹種転換）
- 西原、欄原、秋山周辺の自然のままを楽しむ風景づくり（溪谷美の活用、アクセス強化、PRの充実）
- 魅せる桂川の風景づくり（川下り、納涼船の復活、美しい朝もやの風景、上流・下流域連携による水質改善・排水対策、ゴミ対策）
- 特徴的な水辺の保全と活用（歴史文化上も重要な大野貯水池、ため池百選の月見ヶ池、沢・溪谷・滝の活用、釣り人の風景など）
- 河岸段丘地形を活かす眺望景観づくり（ビュースポットづくり、眺望を阻害する樹林の伐採・維持管理、桂川の眺望への配慮、満天の星空）
- 景勝地の四季折々の花の風景を活かす（西原・秋山溪谷等の紅葉回廊、大野貯水池の桜など）

2. 甲州街道宿場町や潜在的な歴史文化資源を活かす

◆目標のキーワード

- ◇旧甲州街道歴史のみちや宿場町の面影を風景づくりに活かし、次代に継承します
- ◇先人たちの知恵に培われた「水のまち」の文化を継承する風景づくりを進めます

◆甲州街道宿場町の歴史性、その他歴史文化資源などの提案

- 旧甲州街道の魅力資源を活かす（富士講の道、一里塚、宿場町の風情あるまちなみ景観など）
- 旧甲州街道風景を巡るルートづくり（トイレ・サイン整備、街道宿の統一したデザインの看板づくり、上野原本通り宿場のまちなみ景観づくり（花の街づくり、案内板設置等））
- 楽しみ歩くおもてなしの風景づくり（沿道集落住民の手による特色ある花の風景の活用、花いっぱい運動の推進等）
- 水の文化の風景・ルートづくり（ハツ沢発電所の周知・景観整備、大野貯水池～四方津～ハツ沢発電所のルートづくり、市街地の水路の活用）
- 歴史文化資源の顕在化と活用（秋山の金山金山、歴史ある大正館、地域の社寺等）
- 伝統行事・祭りの継承と活性化

◆必要な手だて・仕組みづくり

- 水と歴史文化を守り・活かす取り組み、人が培った風景の継承が重要
- “風致地区”の意義の再確認→出来たときの経緯、本市の風景の本来の意味を再検証する
- 身近なお宝発見と活用（地域資源を知る→顕在化→情報周知→観光パンフレットの配布等）
- 上野原にしかない魅力の掘り起こし（眠っている原石をみんなで磨く）→フットパスの取り組み
- 効果的なPRの仕掛けづくり（資源+αの発見、地域の特色を出したPR冊子（地域活動のお披露目、達人・名人の紹介等）、参加・学習型の上野原市誌の編纂、上野原駅長さんは優れた広報マン！を活かすなど）
- 魅せたい資源や原風景の“維持管理”に主体的に関わる仕組みづくり
- 「人・地域」の連携強化と「地域から市全域」へ波及させる仕組みづくり

■市民プロジェクト（先導的な取り組み）の提案！

●テーマ

上野原・風景を育む原点回帰プロジェクト

～豊かな資源を活かし、できることから進め、花開くまでがんばろう！～

【考え方】

- 上野原市は、圧倒的な自然と奥行きある景観の宝庫です。また、地域では住民による多くの主体的な活動が行われています。この資源と活動を活かすこと、今あるもの、豊かな土壌を風景づくりに向けて今一度見つめ直し、さらに磨きをかけ魅力を高めていくことが大切です。
- 良好な資源を守り・創り、次代へ引き継ぐことがいかに大変なことかを私たちは知っています。懇談会では「景観は人が創る」ということを実感しました。できることから風景づくりの活動を進め、その一歩一歩をパワーにして、花開くまでがんばり、蓄積していく取り組みが重要です。
- そして、住む人が誇りを持ち豊かに暮らしていける、そこにひかれ多くの人が集まるような、風景づくりをめざし、次の取り組みを提案します。

●具体の取り組み提案

テーマ1：ポイントを絞る！ たくさんある資源を活かしてできるところから実現する！

①ある資源を活かす！+αで魅力を高める

- 地元が意識し創っていく風景を創る！ ～歩いて風景を見直し・創る！地元ならではの風景！～
→良好なポイントを楽しみながら巡るルートづくり（根本山～八重山～聖武連山（市街地を一望）など）
→魅せる視点場づくり、維持管理の必要性、地域情報を知らしめる手段・工夫づくり
- フットパス、トレッキング、まち歩きを活用（市民が感じているモノ+来訪者が良いと思うもの）
- 市街地後背の斜面樹林・雑木林を活用した身近な自然景観づくり

②風景の好循環を創る

- 多様な資源をキーワードで結ぶ
（キヌアの里づくり、桑、蚕（絹）の活用など）
- 風景の価値を高めるには、「経済効果」の視点も重要！
→営みを支える特産品づくり、産業育成、観光活性化、住民の活動助成、住民の意識改革に結びつく

③地域で培った熱意・活動を活かすことが効果的！動き出しやすい！

- 地域活動のあるところから →ベースがあり地域の協力を得やすい
- 地元が育んだ花の風景を活かす（花のある風景は人を呼び込む など）

風景づくりの好循環を創ろう！



テーマ2：先行的に進める“モデル”を創る！ ～風景づくりを実現する好機!!～

①上野原駅周辺・桂川周辺

- 桂川の水辺の風景を活かし、駅周辺整備とあわせた水辺空間との一体的な風景づくりを進める
- 駅からの眺望を活かす（桂川沿いの河岸段丘、崖線の緑など→緑の維持管理が重要）
- 駅周辺整備に際しては今ある資源と結びつける（与謝野晶子の文学碑、案内板への活用など）
- 島田地区の魅力資源を見出す（4つの公園が活用されない、島田小は景観に配慮し舟形の建物 など）
- 駅周辺整備については、景観形成について話し合う場や行政の景観検討チームを設置する

②(仮)談合坂スマートインター周辺 ～景観を活かしまちなかに人を呼び込む絶好の機会！～

- 談合坂サービスエリア利用者に魅せる（不老山等の山なみ、甲東～犬目一帯の里山やハナモモの風景等を望む眺望の活用）
- 点と点を結び一体的な線（ルート）を創る（スマートインター～新田下のハナモモ～甲州街道（犬目宿、恋塚一里塚等の歴史資源）～扇山）
- 甲州街道の宿場・景観資源全体を結ぶ機会とする

③柵原長寿の里周辺 など

- 奥深い自然景観と山里の眺望景観を活かす

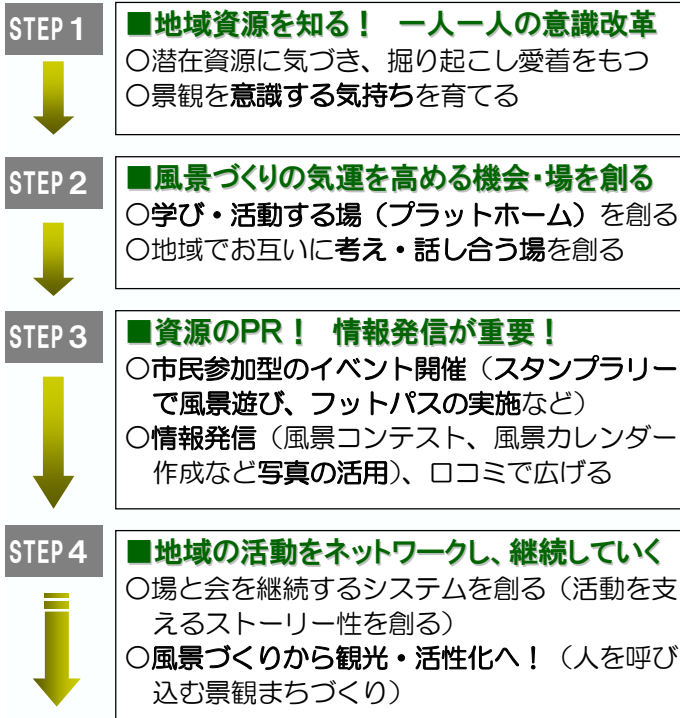
◆プロジェクト提案の実現に向けて!!

～風景づくりの気運と環境を創る!!～

上野原には、資源も人も、あるものはある！景観のベースとなるものは既にある！

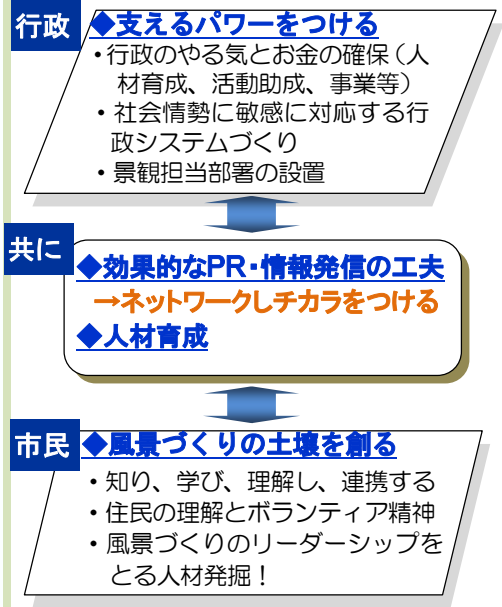
一から始めるわけではない、風景を創っていこうとする気運そのものを創ることが大切です
そのためには、地域の関わりを創っていくこと、住民と行政の協働作業が重要です！

1. 風景づくりのパワーを身につける土壌づくり



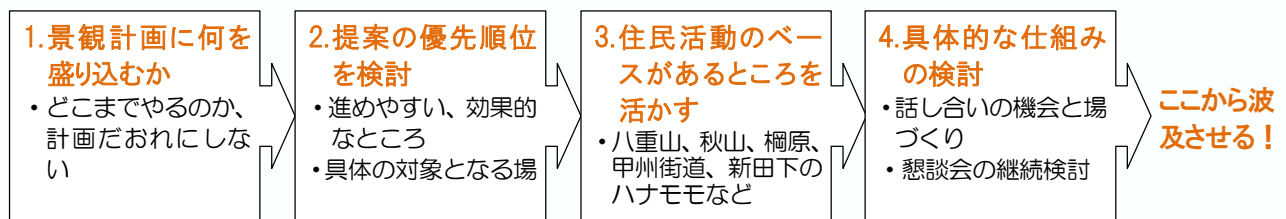
2. 市民パワーと行政のコラボレーション

下からもりあげ、上から支える仕組みづくり!!



継続的に、常に前へ蓄積を重ねる！

市民プラン提案からはじめの一步!!



市民と行政の協働作業で進める！



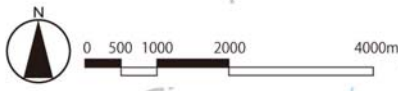
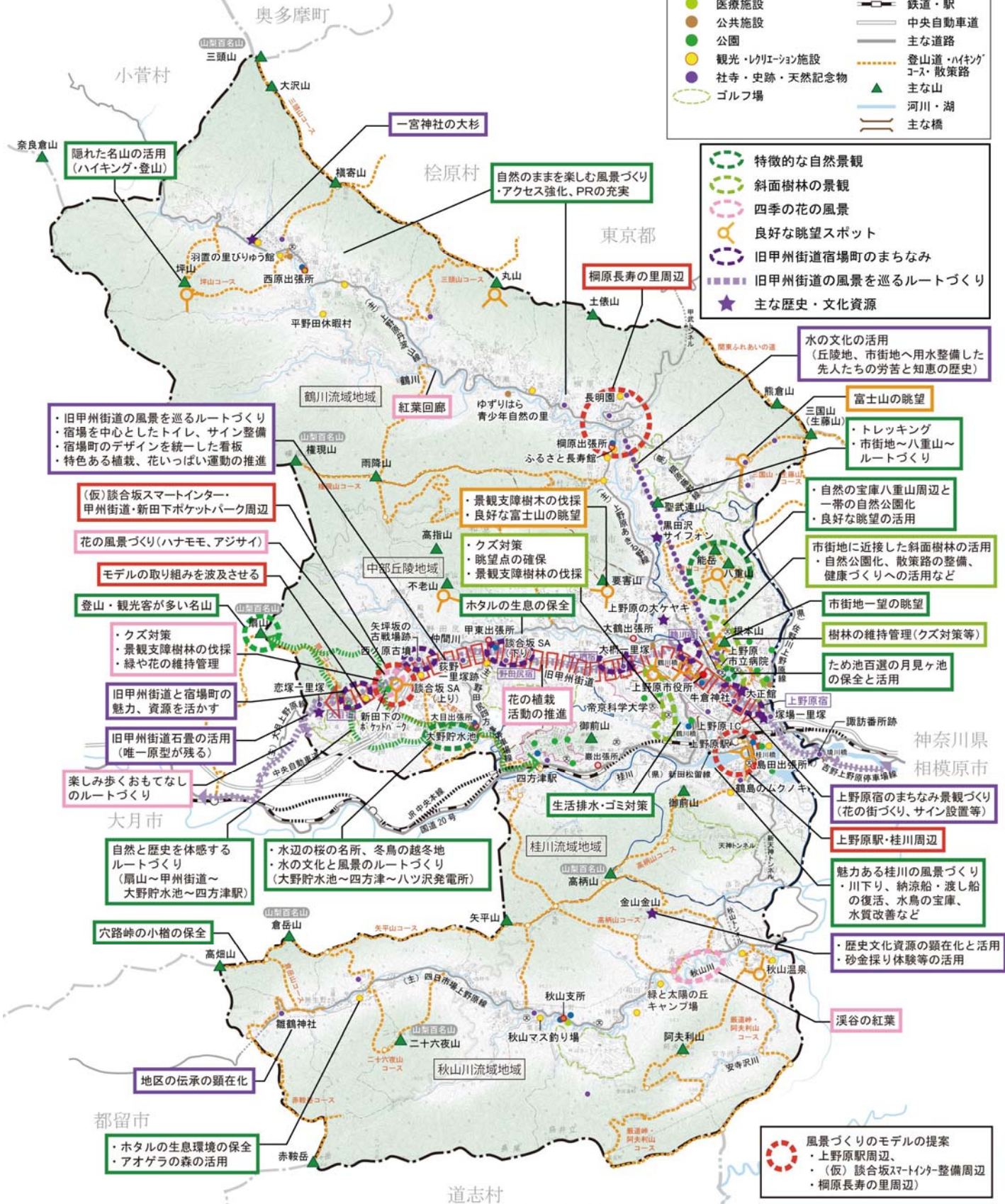
■景観特性・提案マップ ー上野原市の骨格となる風景を守り活かすー

景観特性・提案マップ

～上野原市の骨格となる風景を守り活かす～

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ● 市役所 | --- 行政界 |
| ○ 支所・出張所 | --- 都市計画区域 |
| ⊗ 教育施設 | --- 用途地域 |
| ● 警察・消防 | --- 地域界 |
| ● 医療施設 | --- 鉄道・駅 |
| ● 公共施設 | --- 中央自動車道 |
| ● 観光・レクリエーション施設 | --- 主要道路 |
| ● 社寺・史跡・天然記念物 | --- 登山道・ハイキングコース・散策路 |
| ● ゴルフ場 | ▲ 主要山 |
| | --- 河川・湖 |
| | --- 主要橋 |

- 特徴的な自然景観
- 斜面樹林の景観
- 四季の花の風景
- 良好な眺望スポット
- 旧甲州街道宿場町のまちなみ
- 旧甲州街道の風景を巡るルートづくり
- 主な歴史・文化資源



- 風景づくりのモデルの提案
- ・上野原駅周辺
- ・(仮)談合坂スマートインター整備周辺
- ・桐原長寿の里周辺

■風景づくり重点テーマの提案

1. 地域特性を活かした上野原市らしいまちなみ景観を創る

◆目標のキーワード

- ◇上野原市の風景づくりは、住み良さを重視することが大切です
- ◇住む人の心地よさから、ふれあいと交流を深め、人が結び・集う風景づくりを進めていきます

◆中心市街地などのまちなみ景観、施設周辺の景観などの提案

- 中心市街地の活性化と景観形成（憩いのスポット、大型バス駐停車スペース、情報入手の場づくり、水路の活用、市街地のインフラ整備等）
- 国道20号のまちなみ景観づくり（看板等の統一感あるまちなみ景観形成、空店舗・空き家の有効活用（シャッター通りの実態調査）など）
- 上野原駅周辺の景観整備と魅力づくり（利便性や魅力の向上、眺望への配慮など）
- 都市的景観の活用（コモアしおつのまちなみ、コモアブリッジなど）
- 公共施設の率先した景観形成（誰もが憩う公園・広場の整備、景観に配慮したみちづくり（ガードレール、市道の崩れた土手の改善、不法投棄対策等））
- 花と緑のまちなみづくり（沿道樹木や花と緑の維持管理、素敵なお庭紹介（オープンガーデン）など）

2. 山間集落と里山の原風景を守り活かす

◆目標のキーワード

- ◇上野原市は、昔ながらの素朴で美しい山村集落、農と里山の風景など、ふるさとの原風景が残されています
- ◇人の営みからうまれた風景、人が培ってきた風景は本市の財産であり、この風景の継承に努めていきます

◆山間地の集落と里山の風景、農の風景などの提案

- 美しい山間集落風景の保全と魅力の向上（西原・桐原・秋山地区などを中心とした木造家屋集落の保全）
- ふるさとの原風景の維持・保全（高齢化や過疎化、限界集落対策、崩壊しつつある空き家対策、生活が成り立つ仕組みづくり）
- ふるさとの風景を巡るルートづくり（自然や風景のPRの充実、沢・溪谷・滝の活用など）
- 素朴な農の風景の保全と活用（富岡の棚田の風景のPR、雑穀畑や傾斜地の畑地の保全、特産物の発信）
- 交流とおもてなしの風景づくり
 - ・伝統食の文化の継承と活用（長寿食、酒まんじゅう、せいだのたまじ（竜泉寺（セイダ大明神）など））
 - ・花の風景の活用と花いっぱい活動の推進（尾続の花畑、矢坪・新田のハナモモ・アジサイ・桜並木・キンモクセイ、椿の菊屋敷等）
 - ・地域活動のネットワークづくり

◆必要な手だて・仕組みづくり

- 人が培った風景の継承（人智・文化、ふれ合い・交流等）
- 甲府・新宿へ1時間の好立地を活かす
- 景観コントロール、景観阻害要因の改善（看板等の統一、電線・電柱の整序、ゴミ不法投棄対策等）
- 地区のルールづくり
- 身近なお宝発見と活用（地域資源を知る→顕在化→情報周知→観光パンフレットの配布等）
- 上野原にしかない魅力の掘り起こし（眠っている原石をみんなで磨く）
- 効果的なPRの仕掛けづくり（資源+αの発見、地域の特徴を出したPR冊子（地域活動のお披露目、達人・名人の紹介等）、参加・学習型の上野原市誌の編纂など）
- 魅せたい資源や原風景の「維持管理」に主体的に関わる仕組みづくり
- 「人・地域」の連携強化と「地域から市全域」へ波及させる仕組みづくり

■市民プロジェクト（先導的な取り組み）の提案！

●テーマ

上野原励ましネットワークプロジェクト

【考え方(キーワード)】

- 上野原市は既に多くの市民が地域で様々な活動を行っています。この地域活動がより豊かな風景づくりに向けて連携し、励ましあってさらに広がっていくことが大切です
- そのためには、人材を知り・人材を見つけ・人材を育て連携を強めていくことが重要です
- これらの活動を理解し、互いに認め合い、ほめて・励まし、さらに全市への波及効果となるよう、「上野原励ましネットワークづくり」を進めていきます。

●具体の取り組み提案

テーマ1：交流を促す仕組みづくり

①集まる場をつくる

- ・人が集まり話し合いできる場を創る →玄関口となる上野原駅の公共スペースの活用
- ・上野原市民が協働できる活動を増やしていく

②「がんばり励ましネット」づくり

- ・どこで、誰がどんな活動をしているのかを知る →市で調査
- ・励ましとは何か理解する→励ましをモチベーションとした活動とネットづくり
- ・情報発信 →インターネットの活用（「がんばり励ましネット」のWeb開設）
- ・活動のきっかけとなるイベントづくり

③「表彰制度」を創る！ ～活動をほめる仕組みづくりと全市への展開～

- ・地域の活動をほめる →優れた地域おこしや清掃・花植え活動等の活動を市が表彰する
- ・表彰制度を一つのイベントとして実施し、これを契機として活動の輪を広げる→他の地域へ広げる
- ・表彰の結果や内容を広く周知する

④外から(都会の人)のチカラを借りる

- ・外の人材活用でアイデアとチカラを得る →交流
- ・都会の人のふるさとにしてもらおう（協力してもらおう）→受け入れ体制や仕組みづくりが必要
- ・都会からの移住を促す仕組みづくりが必要 →良い友達ができると長続きする

⑤楽しくなければ！

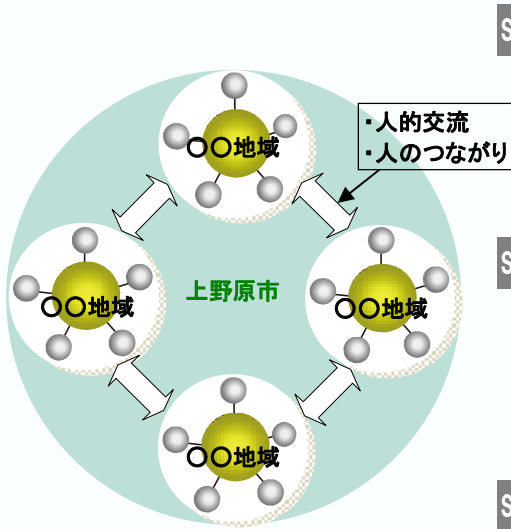
- ・やりたいことができないと継続しない →楽しく活動できるような雰囲気・環境づくり
- ・活動の結果とともに喜び・感動を知ってもらう
→草刈りをする→昼食を一緒に、お土産などがあればなおよい・・・

テーマ2：上野原駅周辺の整備をきっかけとした景観づくり

- 上野原駅周辺の公共空間・スペースの有効利用
 - ・駅周辺施設のスペースを活用した風景づくりやまちおこしに関わる市民活動等の情報交換の場づくり
 - ・市民や来訪者が交流したり、談話したりできるスペースの設置
 - ・市民参加による駅前広場や道路空間の花植え（「私がやった！」の体験づくり、参加型の花植え）
 - ・桂川土手の活用（土手への植栽、花の絵画など）、協働による植栽・芝の手入れの充実
- まちの案内板の設置（駅前への上野原の美しい風景の案内板）
- まちの案内人の活用 →案内人の基地づくり
- 川を面白くする取り組み（駅と水辺をつなげる、水辺の工夫）
- 上野原駅を核として市内に人を引き込む
- “東京に近い山の中”を活かす

◆プロジェクト提案の実現に向けて!!

～励ましネットワークづくりから進めよう!!～



STEP 1

■地域の中の連携を強める

- 地域からの発意～関心ある人が集まるチームを創る
- 小さな活動の芽を育てるオリジナルなネットワークづくり～多様な組織の連携を強化

STEP 2

■地域間の人をつなぐを深める

- イベントを通じた地域交流(お互いのイベントへの参加など)
- 団体のピックアップ

「表彰制度」で
キッカケを創る

STEP 3

■地域間どうし話し合いの場をつくる

- 活動が集まる場づくり
ex)「(仮称)地域おこし連絡協議会」等の検討
・懇談会を発展させる(メンバーの参加)
・各地域活動の情報・意見交換を行い、活動を連携させていく場(核)づくりの検討

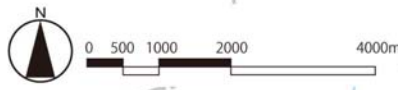
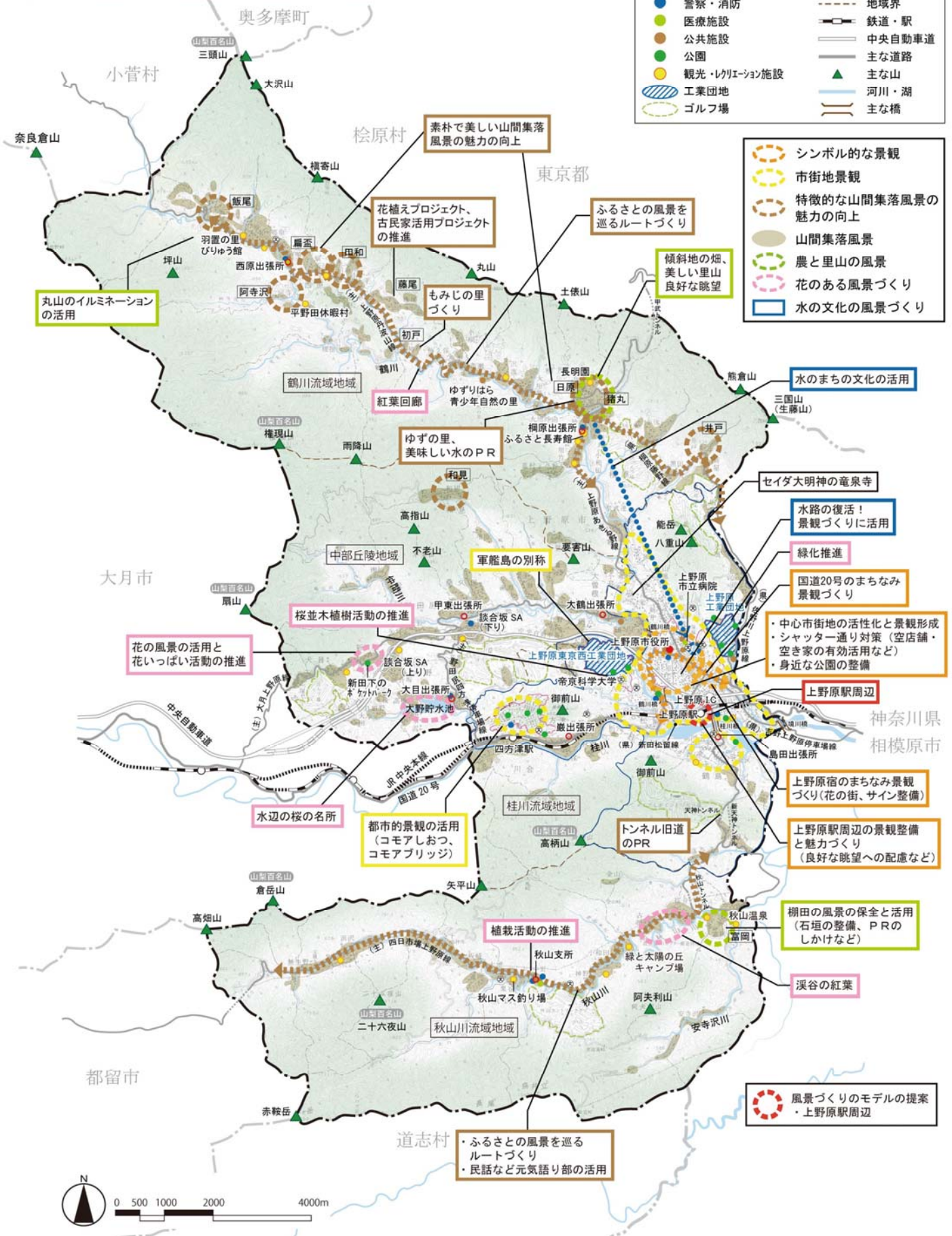


■景観特性・提案マップ —暮らしに身近な景観を活かし創る—

景観特性・提案マップ
～暮らしに身近な景観を活かし創る～

- 市役所
- 支所・出張所
- ⊗ 教育施設
- 警察・消防
- 医療施設
- 公共施設
- 公園
- 観光・レクリエーション施設
- ゴルフ場
- 行政界
- 都市計画区域
- 用途地域
- 地域界
- 鉄道・駅
- 中央自動車道
- 主な道路
- ▲ 主な山
- 河川・湖
- 主な橋

- シンボリックな景観
- 市街地景観
- 特徴的な山間集落風景の魅力の向上
- 山間集落風景
- 農と里山の風景
- 花のある風景づくり
- 水の文化の風景づくり



風景づくりのモデルの提案
・上野原駅周辺

・ふるさとの風景を巡る
ルートづくり
・民話など元気語り部の活用

・中心市街地の活性化と景観形成
・シャッター通り対策（空店舗・
空き家の有効活用など）
・身近な公園の整備

上野原駅周辺
上野原宿のまちなみ景観
づくり(花の街、サイン整備)
上野原駅周辺の景観整備
と魅力づくり
(良好な眺望への配慮など)

・緑化推進
・国道20号のまちなみ
景観づくり

水路の復活！
景観づくりに活用

水のまちの文化の活用

傾斜地の畑、
美しい里山
良好な眺望

ふるさとの風景を
巡るルートづくり

素朴で美しい山間集落
風景の魅力の向上

花植えプロジェクト、
古民家活用プロジェクト
の推進

丸山のイルミネーションの
活用

花の風景の活用と
花いっぱい活動の推進

水辺の桜の名所

都市的景観の活用
(コモアしおつ、
コモアブリッジ)

植栽活動の推進

トンネル旧道
のPR

・ふるさとの風景を巡る
ルートづくり
・民話など元気語り部の活用

・ふるさとの風景を巡る
ルートづくり
・民話など元気語り部の活用

・ふるさとの風景を巡る
ルートづくり
・民話など元気語り部の活用

・ふるさとの風景を巡る
ルートづくり
・民話など元気語り部の活用

(2) 風景づくりの実現に向けて

■協働体制による行動指針

上野原市の風景づくりに向け協働体制による次の行動指針を提案します！

■私たち市民が進めること…

- 地域資源に気づく・知ること、景観を意識する気持を育て・愛着を持つこと
- 身近なことから一步ずつ進めること
- 原風景の維持に主体的に関わること、地域の多様な活動に関心を持つこと
- リーダーシップをとる人材を発掘すること
- 地域で考え・話し合う場をつくり小さな活動の芽を育てること

■協働で進めること…

- 風景づくりについて話し合い、意見交換を行う機会や場を創ること
- 「原動力は人！景観は人が創る！」、学ぶ場を創り人材を育成すること
- 上野原の魅力を掘り起こす、眠っている原石をみんなで磨くこと
- 地域で培われた熱意や活動を連携し、全市的に波及させていくこと
- 地域資源や地域活動を効果的に発信するイベントやPR手法を検討すること

■行政が進めること…

- 市民の風景づくり活動を支える仕組みを創ること(市民参加の機会・場づくり、市民活動への支援・助成の検討など)
- 景観行政を先導していくチカラをつけること(人材育成、景観に関わる調整組織の設置検討、景観を推進する事業等の検討 など)
- 一つでも成果が見えるものにし、それを契機として景観形成に率先し取り組むこと(地域の優先エリアの検討、風景づくりを先導するモデル地区の検討 など)
- 景観を阻害する要因を改善し、景観形成に向けた地区のルールづくりなどを検討すること

今動くこと・ここから始める！

懇談会を活かした
市民参加型の話し合いの場を創る！



3

市民懇談会活動の概要

(1) 市民懇談会の開催経過とメンバー

◆市民懇談会の開催経過

第1回 平成27年5月21日(木)午後7時～9時

第1部 市民懇談会発足式

○景観計画とは/ワークショップガイダンス等

第2部 全体ワークショップ

- テーマ: **大切な風景! 何とかしたい風景!**
- ・自己紹介をかねた風景への想いの一言

第2回 平成27年6月24日(水)午後7時～9時

○上野原市景観市民アンケート調査について

- テーマ: **景観特性を再発見し、
風景づくりの課題を共有しよう!**
- ・景観特性の共有と課題の抽出
- ・景観特性・情報マップづくり

第3回 平成27年8月29日(土)午前9時～午後4時

第1部 風景づくりフィールドワーク

○市内の主な景観ポイントの現地確認

第2部 ワークショップ

- テーマ: **風景づくりの課題や
提案づくりの方向性を確認しよう!**
- ・風景づくりで重視する視点(課題)の整理
- ・今後の提案方向性の確認

第4回 平成27年10月15日(木)午後7時～9時

○風景づくりを考える構成要素/検討テーマとグループ編成について

- テーマ: **風景づくり市民プランを提案しよう!**
- ・テーマ別目標、風景づくりの具体的なアイデアや提案の協議

第5回 平成27年12月10日(木)午後7時～9時

○市民プラン提案書提出について

- テーマ: **風景づくり市民プランをまとめよう!**
- ・市民プロジェクト、提案の実現に向けた協議

平成28年1月28日(木)午後7時～8時
「上野原市風景づくり市民プラン」の提出

◆市民懇談会参加者の皆さん

地区	氏名
上野原地区	宮野 貴
	酒井 章雄
	佐藤 満
	菊池 和夫
	秦 伸一郎
	長田 勇一
	飯島 勤
島田地区	伊藤 千春
	行田 敏雄
巖地区	佐々木 富芳
	大本 修
	湯川 俊弘
	渡邊 恭一郎
大目地区	臼井 佳祐
	坂本 友子
甲東地区	富田 佳代子
	曾根 悟子
大鶴地区	星野 郁男
	栗原 康子
西原地区	武原 志穂
	長田 洋美
	橋本 寿美子
柵原地区	石井 はるみ
	鷹取 幸代
秋山地区	佐藤 孝延
	関戸 信二
地域おこし協力隊	吉原 隆貴

(2) 風景づくりフィールドワーク

開催日時：平成 27 年 8 月 29 日（土）
午前 9 時～午後 3 時頃（昼食含む）

主な概要：

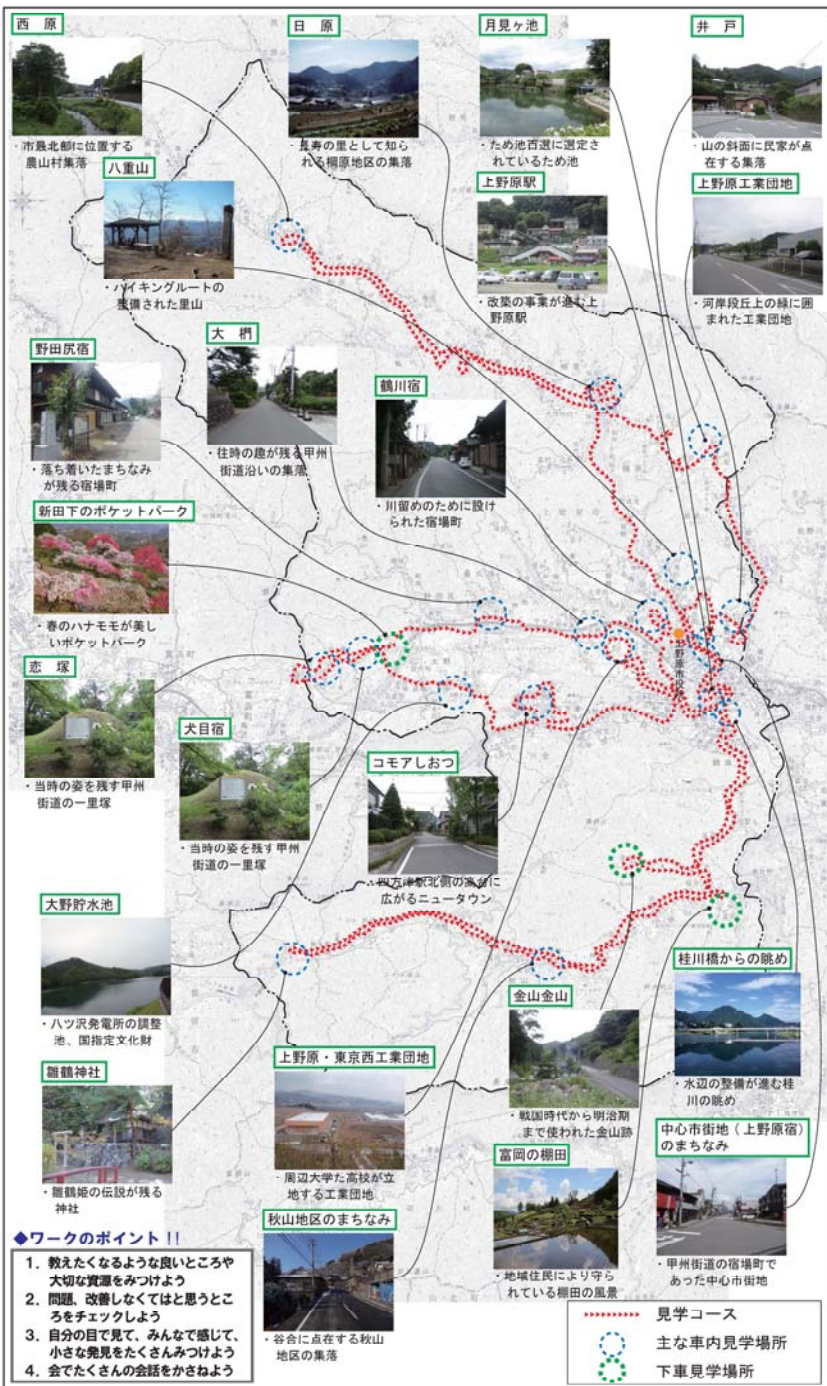
- ・点検・視察ポイントを整理したルートマップに沿い、参加者全員バスにて市内を周遊、ポイントで下車し確認
- ・車中など、参加者による地域情報や住民活動の説明
- ・終了後、庁舎にてワークショップ実施（1 時間程度）
- ・事務局で昼食（長寿食）、飲み物等の準備



・市役所広場集合

上野原市景観計画

景観フィールドワーク!!



見学場所
1. 上野原市役所（9：00 出発）
↓
2. 中心市街地（上野原宿）
↓
3. 上野原駅
↓
4. 上野原・東京西工業団地
↓
5. コモアしおつ
↓
6. 大野貯水池
↓
7. 犬目宿
↓
8. 恋塚
↓
9. 新田下のポケットパーク（下車見学）
↓
10. 野田尻宿
↓
11. 大柵
↓
12. 鶴川宿
↓
上野原市役所（下車休憩）
↓
13. 八重山
↓
14. 月見ヶ池
↓
15. 上野原工業団地
↓
16. 井戸
↓
17. 日原
↓
18. 西原（羽置の里びりゅう館経由）
↓
19. 桐原（下車昼食・梅鶯荘）
↓
20. 桂川橋・鶴島
↓
21. 金山金山（下車見学）
↓
22. 富岡の棚田（下車見学）
↓
23. 秋山地区周辺
↓
24. 雛鶴神社
↓
上野原市役所（15：00 到着）

市民懇談会フィールドワーク風景



・中心市街地のまちなみ景観



・コモアしおつのまちなみ景観



・大野貯水池の風景



・新田下のポケットパークからの眺望



・旧甲州街道沿いの風景



・中央道と談合坂 SA を望む



・上野原工業団地後背の斜面樹林



・上野原駅南口方面へ



・梅鶯荘にて昼食(長寿食)



・西原・桐原の集落景観



・桂川橋からの桂川と山なみの風景



・金山金山で話を何う



・富岡地区の棚田と里山の眺望





上野原市風景づくり市民プラン